

平成 25 年度 海外派遣事業 終了報告書

所属：生命科学研究科 生理科学専攻

氏名：高桑 徳宏

海外派遣先国：イギリス

海外派遣先大学：University of Sheffield, Department Psychology

Peter Redgrave 教授

海外派遣期間：2013 年 8 月 5 日～2013 年 9 月 8 日

海外派遣先大学について

シェフィールドはイングランドの中部に位置する、人口英国第 5 位の都市である。産業革命以来イギリス有数の工業都市であり、なかでもナイフやフォークなどのステンレス製品で知られている。また、工業都市でありながらピーク国立公園を含む森林に囲まれおり自然も楽しむことができる。シェフィールド大学はイギリスの大規模研究型大学 24 校で構成されるラッセルグループの一員であり、これまでにペニシリンの抽出でノーベル生理学・医学賞を受賞した Howard Walter Florey 氏をはじめとする 5 人のノーベル賞受賞者を輩出している。



私を通ったアルフレッド・デニー・ビルディング(左)とステューデント・ユニオン(右)

海外派遣前の準備

派遣先の教官である Redgrave 教授とは 2011 年より共同研究を行っており、互いに見知った間柄であった。派遣先への連絡については、初めに伊佐正教授に私がシェフィールド大学への留学を希望する旨を伝えていただいた。Redgrave 教授に承諾をいただいた後は、具体的な内容について自分でメールのやりとりを行った。

宿泊先は大学が保有する外国人向けの学生寮を使用した。滞在時期が 8 月と夏期休暇中であったため、難なく部屋を確保することができた。滞在中の移動手段として Redgrave 教授に自転車をお借りした。また、短期間であったためビザを用意する必要はなかった。

海外派遣中の勉学・研究

滞在期間が一ヶ月程度であったため、ビジターとしてシェフィールド大学に通った。そのため、ワーキングタイムが午前 9 時から午後 6 時までと限られており、その時間に合わせて生活を送った。

私は霊長類を用いて、動物が報酬を得るための適切な行動を学習するメカニズムについて研究している。派遣先ではげっ歯類を用いてこの学習に関する異なる切り口からの研究に携わった。

派遣時期が大学の夏季休暇にあたっていたため、授業やセミナーなどは開かれておらず、ひたすら実験・解析・議論を繰り返した。夏季休暇をとっている人も多く、研究室に人が少なかったため、教授と毎日議論することができたことはとても勉強になった。

海外派遣中に行った勉学・研究以外の活動

先に述べたように、シェフィールドは都市であることに加えて、自然に囲まれた緑の多い町であった。そのため、休日は国立公園や庭園を散策したり、市街地に出て買い物をしたりした。また、シェフィールドフェア(農作物などの品評会や歴史に関する展示・催しがあるお祭り)にも参加した。シェフィールド以外では、古い建物が多く残る歴史の街として有名なヨークでヨーク・ミンスターやヨーク・キャッスル、イギリス国立鉄道博物館などの観光を楽しんだ。



シェフィールドフェア 品評会



ヨークに残る中世の町並み(左)と鉄道博物館(右)

海外派遣費用について

中部国際空港からマンチェスター空港までの航空券が約 24 万円、寮費は食事なしで一ヶ月程度約 11 万円であった。これらは派遣事業からの支援で賄うことができた。

派遣期間が短かったため、自炊はパスタなど簡単なものにとどめ、一食 500 円程度のレディ・ミールを良く利用した。外食は非常に高く、ラボの人に誘われた時以外に行くことはなかった。

派遣先での語学状況

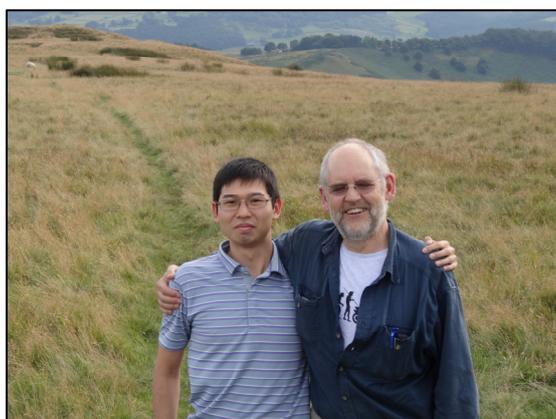
当然ながら、必要な言語は英語である。研究室には様々な国の人がいたが、日本人は自分 1 人であった。少人数での議論や会話であれば意思疎通をすることができたが、大人数での雑談は内容を理解することは大変さを感じた。

海外派遣先で困ったこと

シェフィールド滞在中に困ったことは予想以上に防寒具と雨具の必要性が高かったことである。シェフィールドは昼夜の温度差が激しく、冷え込む日も多くあった。夏場だとしても、防寒具は多めに持っていくべきであった。また、シェフィールドでは良く雨が降ることを知っていたのだが現地調達できると考え雨具も持って行かなかった。しかし、なかなか見つけることができず、結局一度雨に降られてしまった。

海外派遣を希望する後輩へのアドバイス

1 ヶ月はあっという間に過ぎてしまう短い期間ではあったが、事前の準備や打合せをしっかり行うことで充実した研究生活を送ることができた。語学に関しては、出発前は不安に思うが実際に行ってみると度胸でクリアできるし、楽しさで不安は払拭される。特に将来留学を考えている人は、外国での生活に触れるいい機会になると思う。興味を持ったのであれば、まず行ってみることをお勧めする。



Redgrave 教授とピーク・ディストリクト・オブ・シェフィールドにて